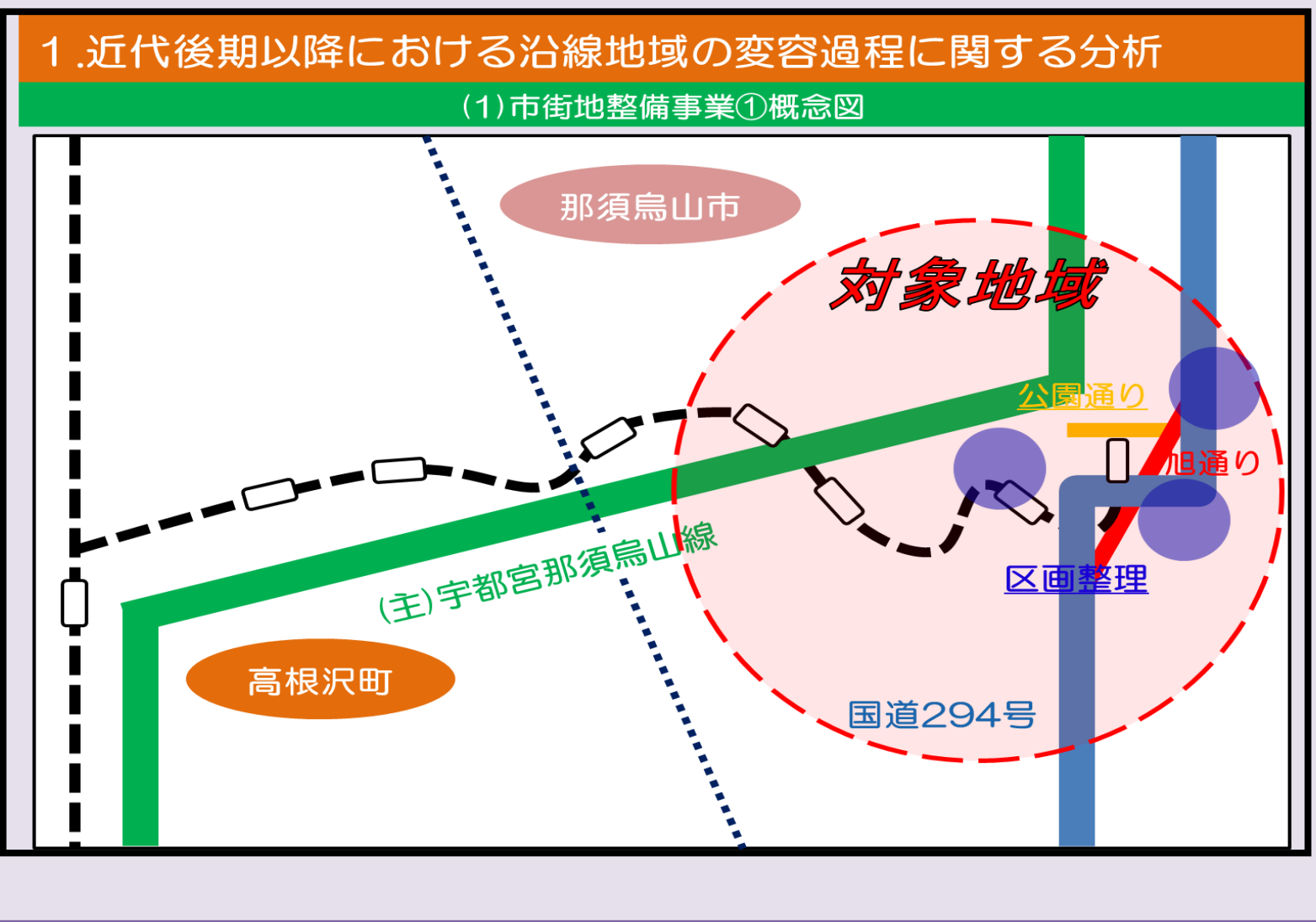


JR烏山線の鉄道唱歌を活用した地域活性化に向けた取り組み
 ～『烏寶線鉄道唱歌』発掘から『現代版鉄道唱歌』作製までを踏まえて～

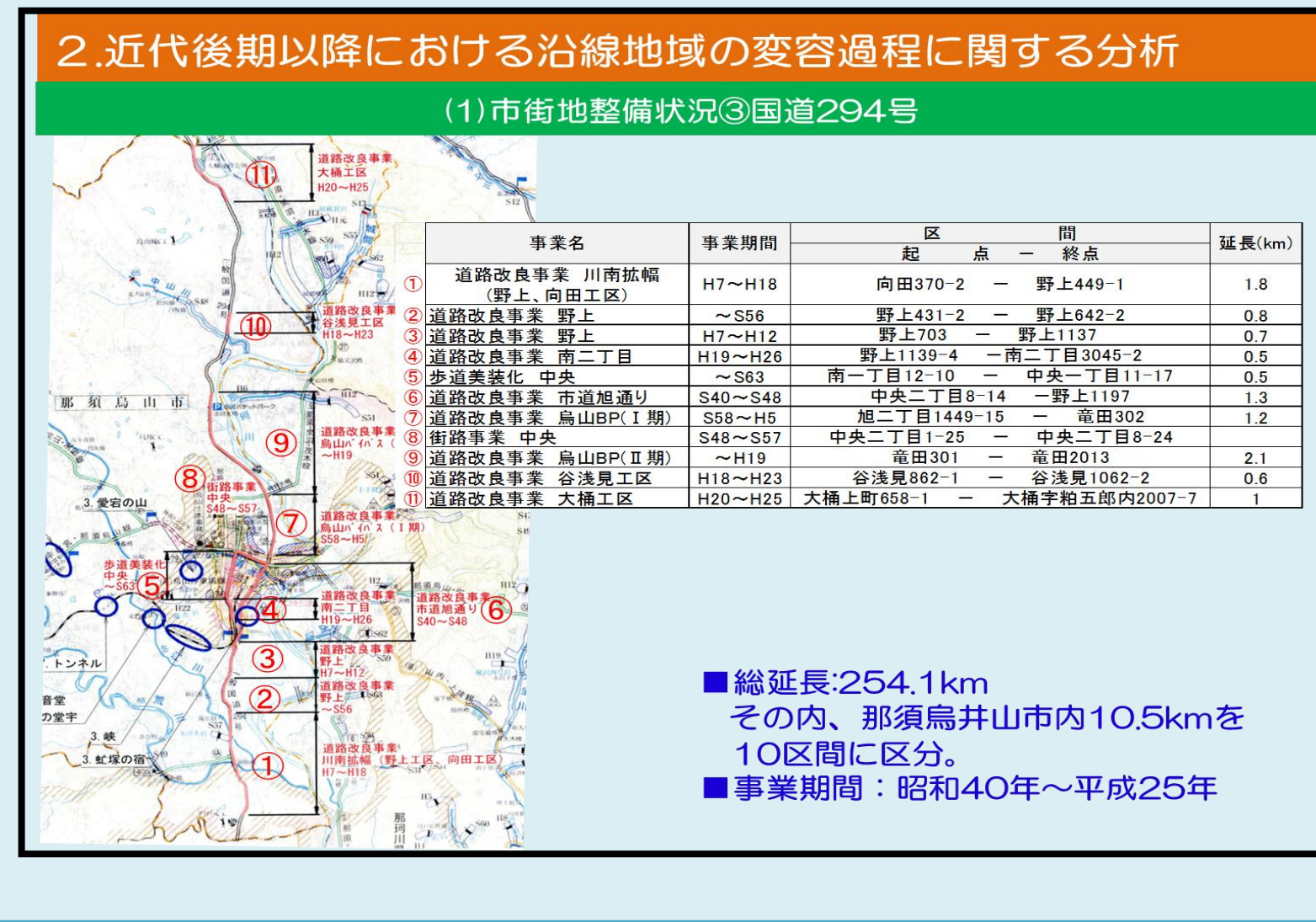
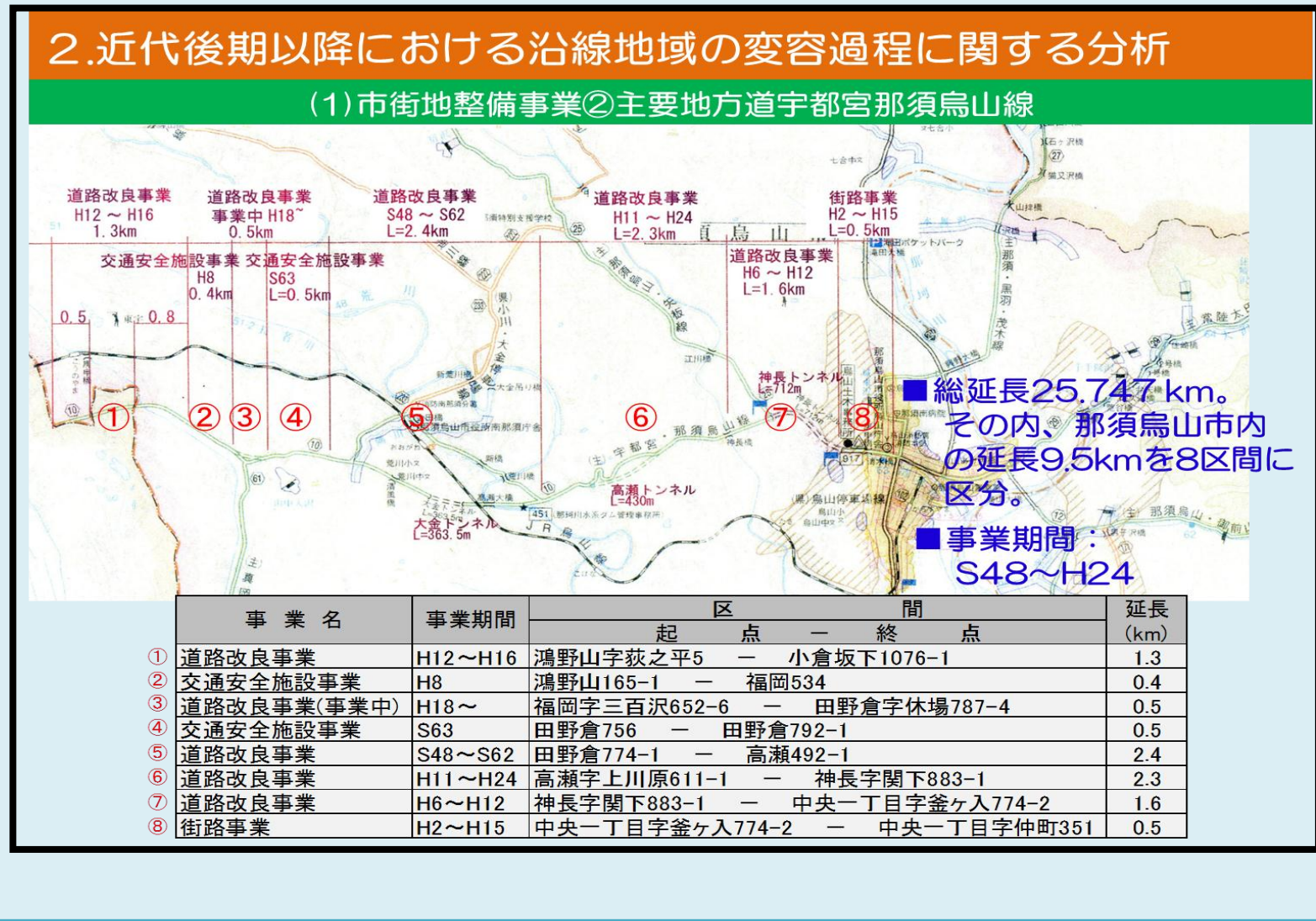
発掘資料『烏寶線鉄道唱歌』の解明②
 ～『烏寶線鉄道唱歌』が作られた昭和前期の地域様相～

『烏寶線鉄道唱歌』の解明として、唱歌が作られた1930（昭和5）年当時の風光復元、および昭和初年から現在に至る間の地域変容の把握を行なった。まず、昭和初年から現代までの地域変容として、土地利用の推移とそれに係わるいくつかの事例分析を行なった。具体的には、①土地利用面積の推移として宅地化と農用地の推移、②市街地整備による地域変容として街路事業および土地区画整理事業の分析・把握、③小学校および児童数の推移、④生活様式と産業への影響として電力事業の趨勢について分析した。次に、復元・特定した歌詞を基に“読み下し文”の作成を行い、そのイメージする風景・景観をイラストレーターに依頼しスケッチを作成した。これらの分析成果とスケッチからは、唱歌が作られたとされる昭和5年当時における地域の近代化に向けた澆刺とした意気込みを読み取ることができる。すなわち、交通基盤・生活基盤の近代化という地域開発に邁進する取り組み姿勢と、自然への憧憬・讃歌がみなぎる豊饒な世界が息づいていたことが確認できた。

■市街地整備事業の対象地域■



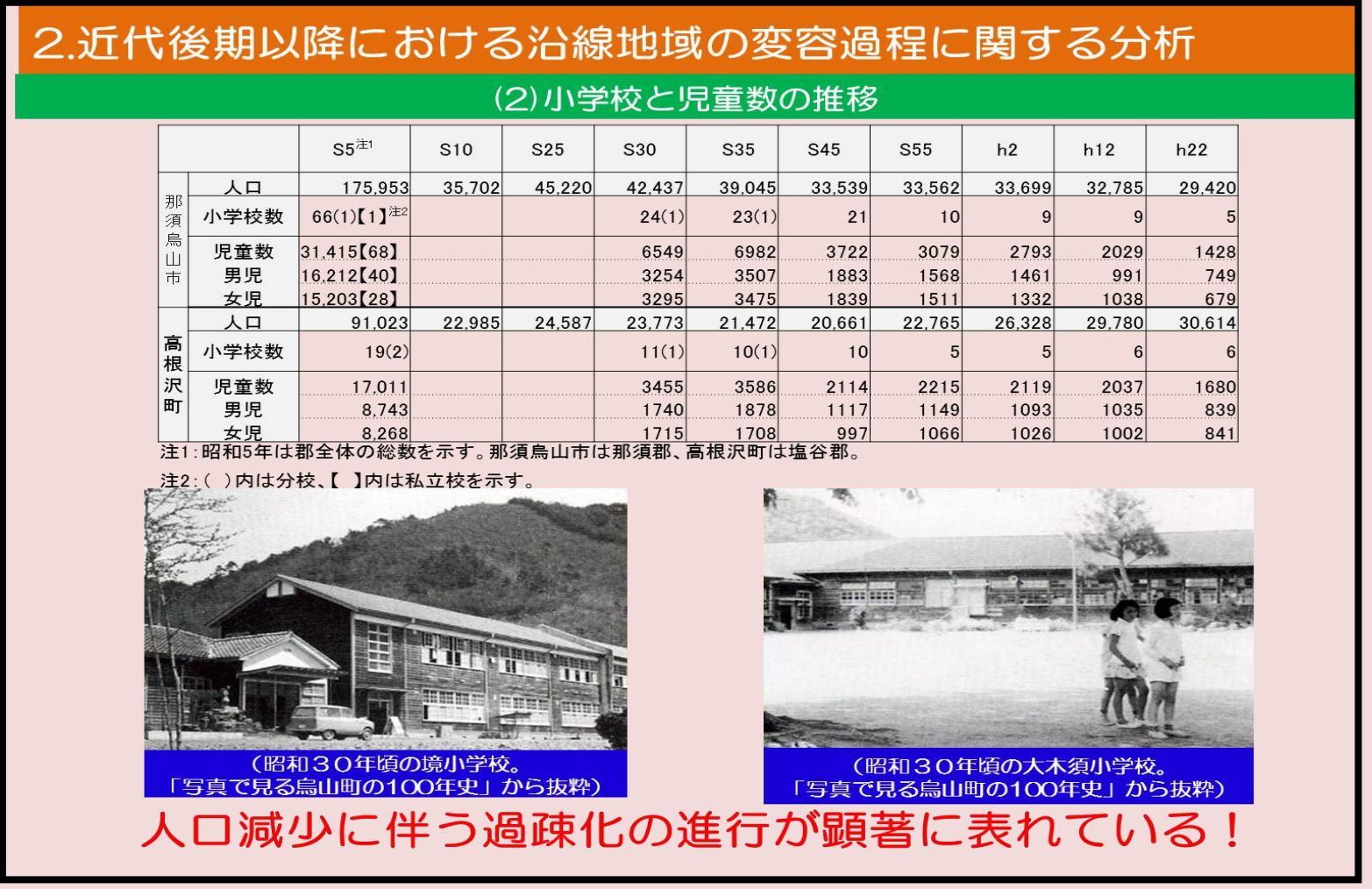
■市街地整備事業(街路事業)■



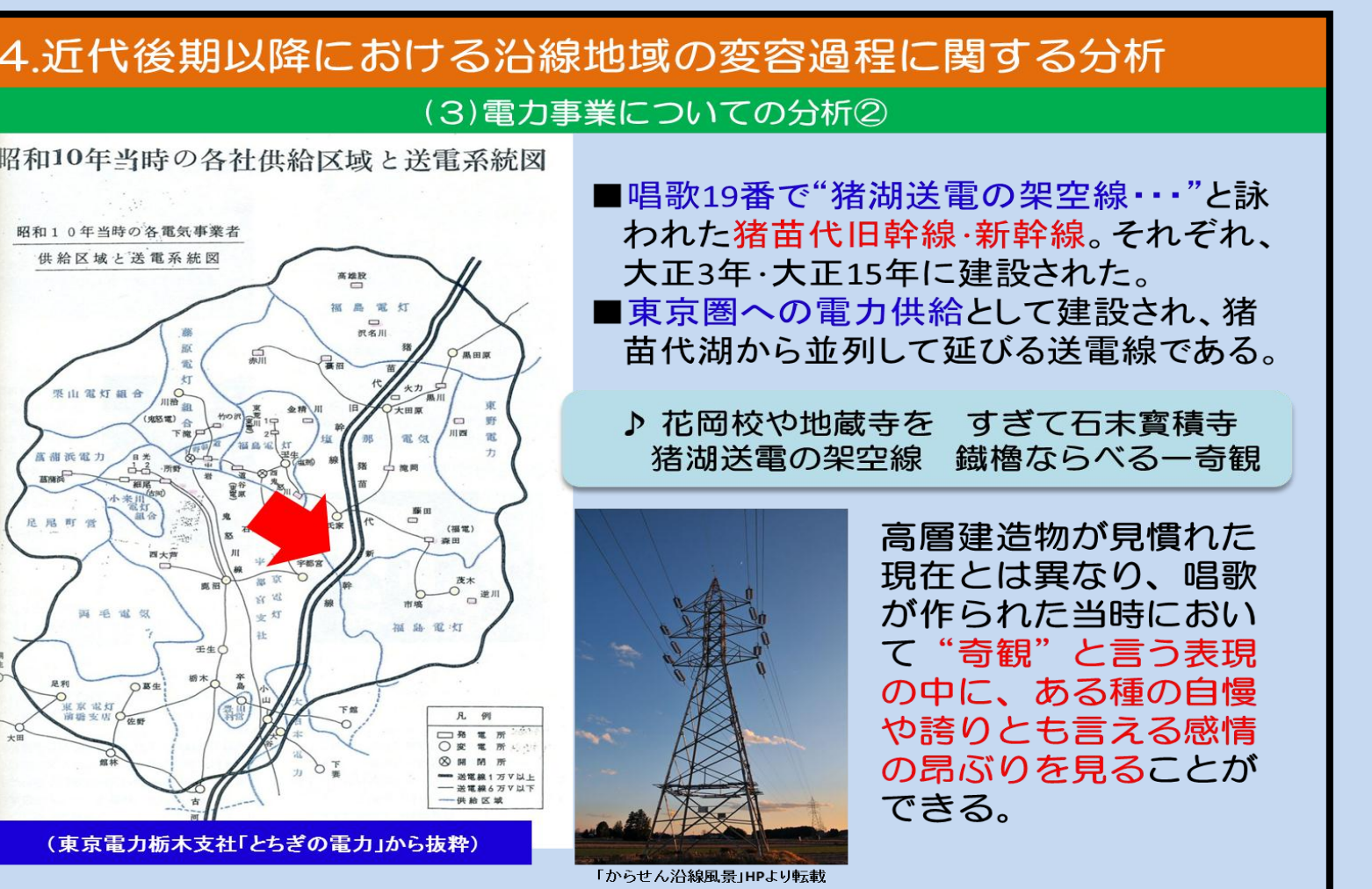
■市街地整備事業(土地区画整理事業)■



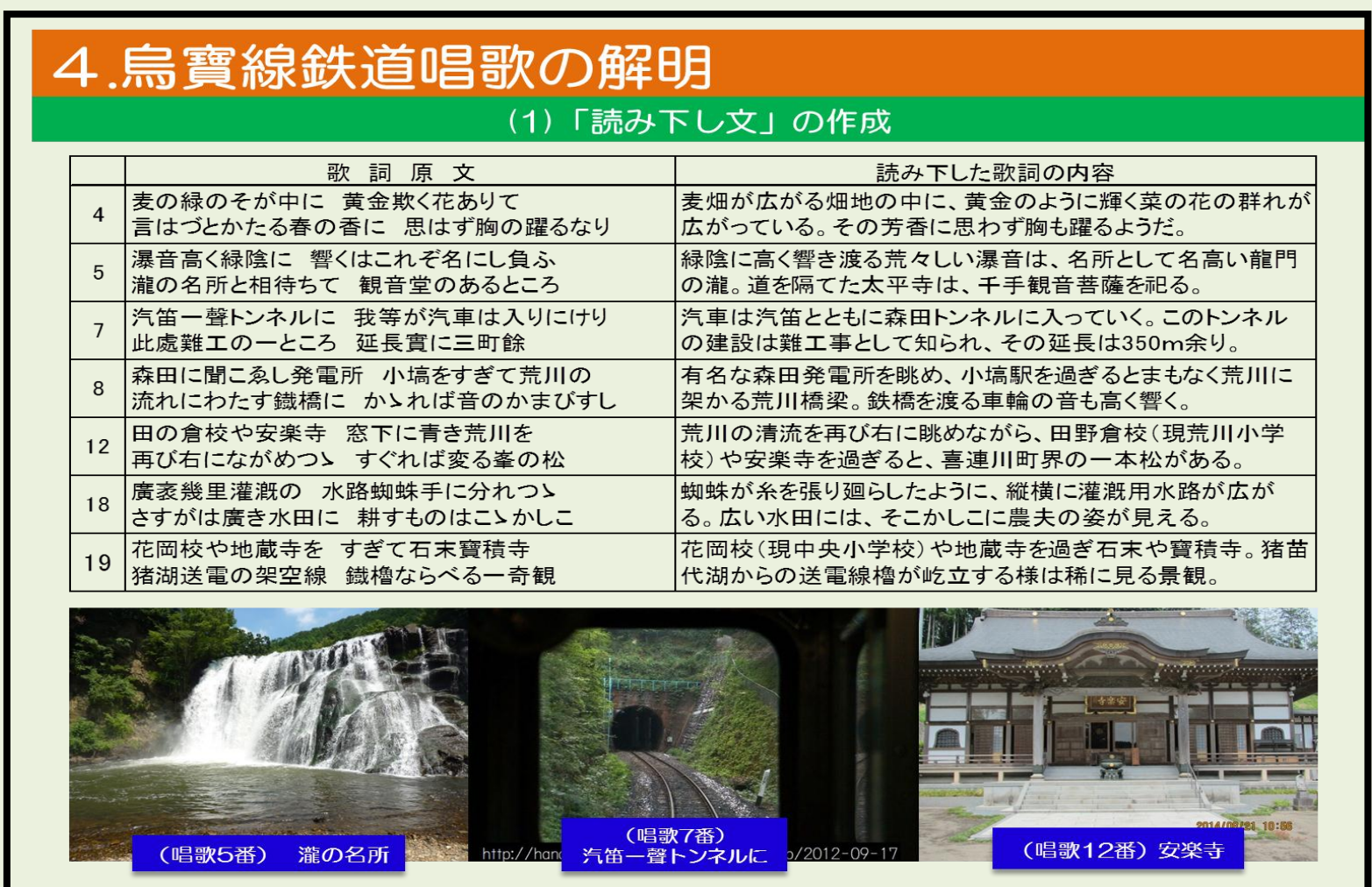
■小学校と児童数の推移■



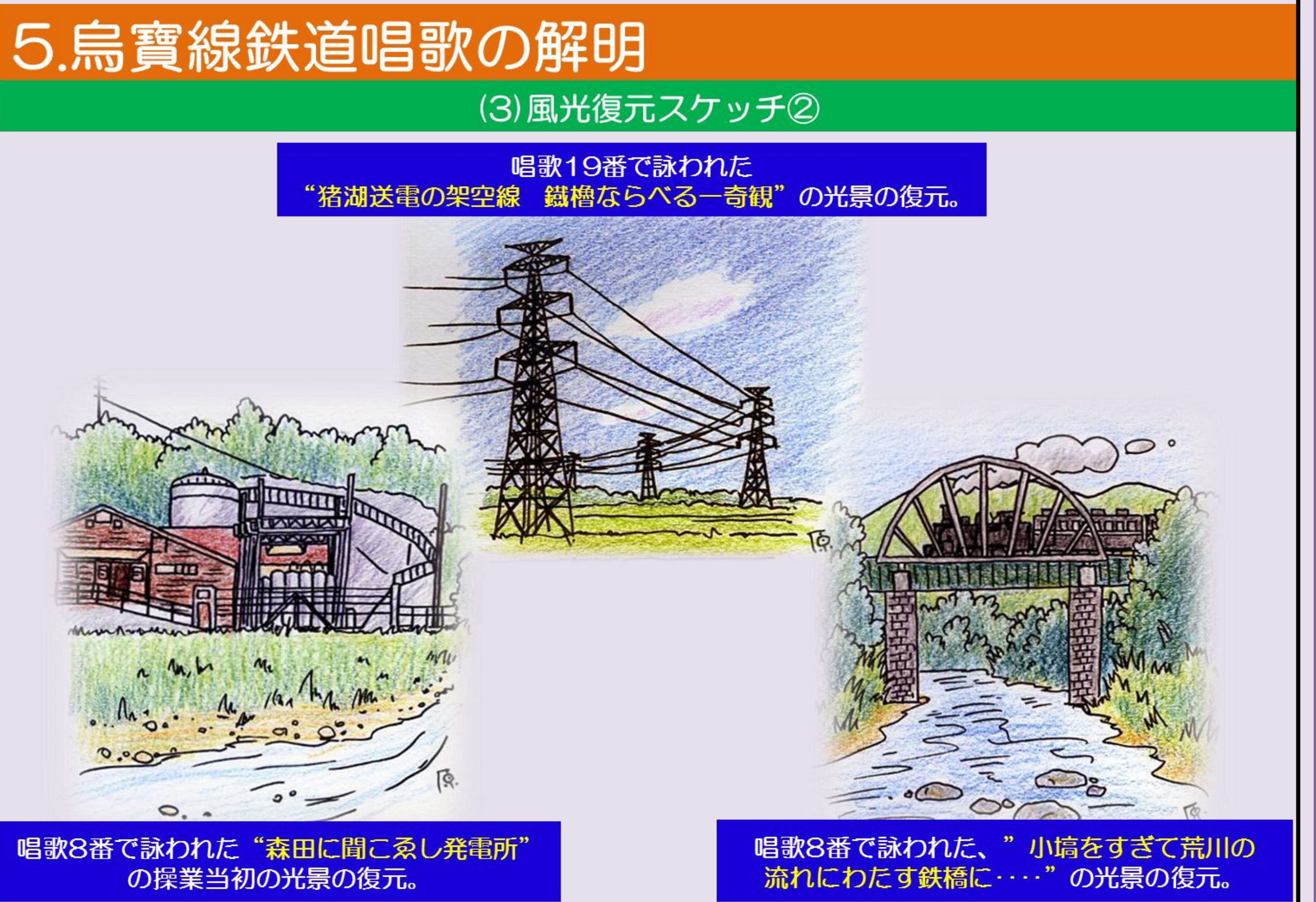
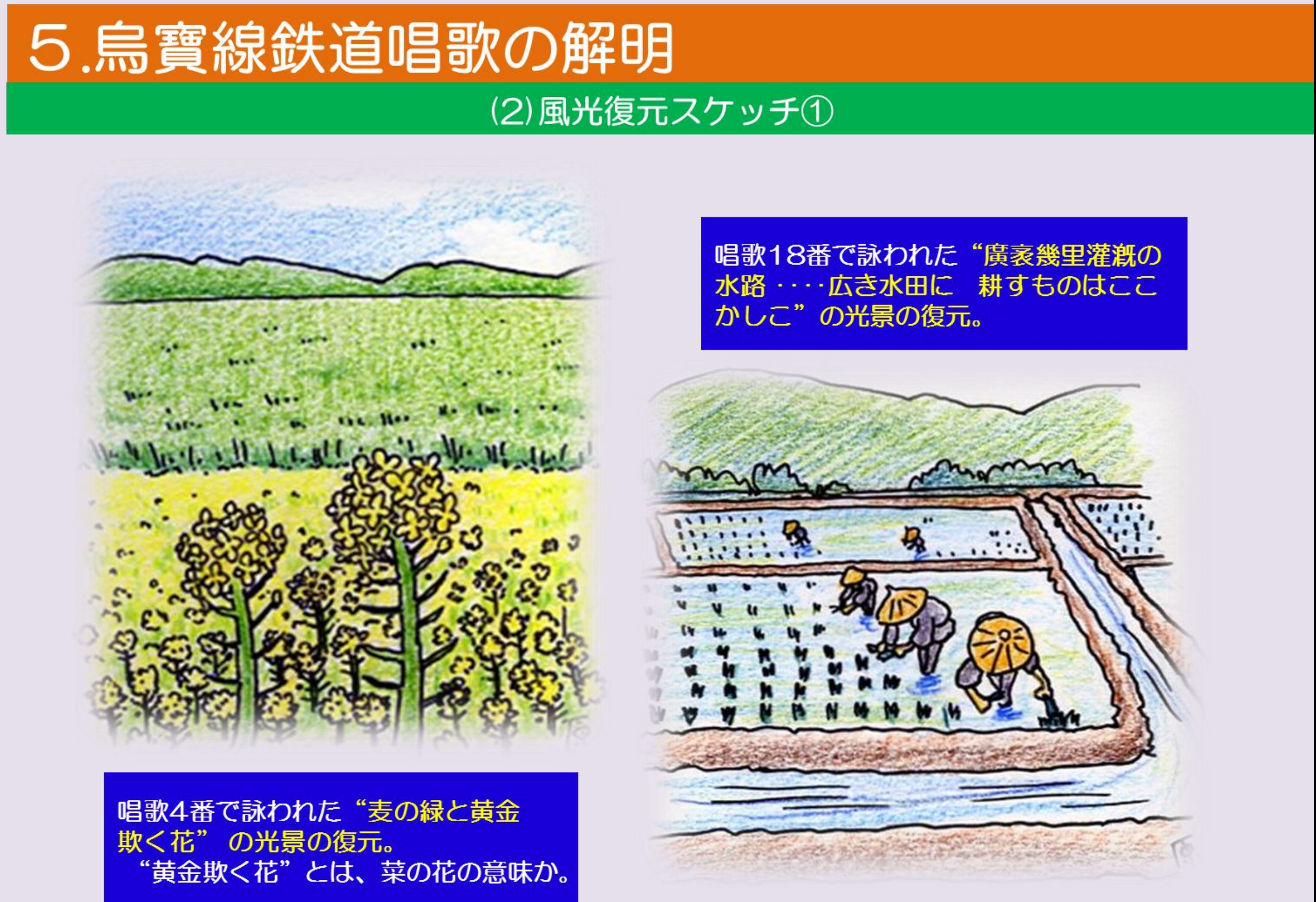
■電力事業の趨勢■



■読み下し文の作成■



■風光復元スケッチの作成■



『読み下し文』を基に、昭和5年当時の風光復元スケッチを作成!!